

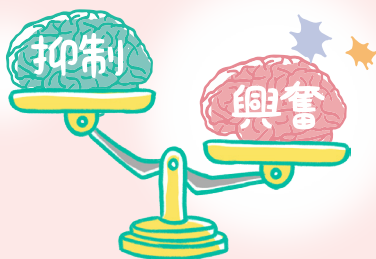
てんかんは治るの？

残念ながらてんかんを根本的に治すお薬はまだ発明されていません。治療薬である抗てんかん薬とは、脳の過剰な興奮を抑えて「てんかん発作が出ないように予防する」お薬です。ですから飲み忘れてたり勝手に中止したりすると、それまで薬で抑えていた発作がまた起きてしまいます。

しかし、一部のてんかんには「治る」てんかんがあります。発症したときは脳が未熟なために神経興奮による発作が起こりやすいが、一定の年齢になって脳が成熟すれば、このような発作は自然とおこらなくなるというものです。つまりお薬をのまなくても発作が出なくなるてんかんということになります。この場合は、発症から発作が自然になくなるまでの期間のみ治療を受けることがあります。

一方「治らない」てんかんでは、成長して大人になっても脳の興奮性が自然と落ち着くことはありません。ですから、発作が起きないようにするためにはずっとお薬を飲み続ける必要があります。

いつの日かすべてのてんかんそのものを治してくれるお薬が開発されることを期待します。



てんかんは、

脳の「興奮」と「抑制」のバランス

が崩れたときに起こる。